

学校法人旭学園と武雄市 4年制大学設置を目指し覚書を締結

市民の誰もが学べる場を目指して

2月15日(水)、学校法人旭学園が武雄市に新たな4年制の大学を設置される構想と市の支援案等に関する共同発表にあわせて、大学設置に向け協力していく旨の覚書締結式を開催しました。学校法人旭学園の内田信子理事長は、「武雄には、佐賀女子高校武雄校舎を46年間設置し、5047名の学生を送り出したが、生徒減少等により止む無く閉校した。武雄への深い感謝の想いは忘れていない。その武雄に新しい大学を設置できるのは万感胸に迫る想い。学生だけではなく市民の学ぶ場として開放し、全国から、また国境を超えて学べる場をつくりたい。」とコメントされました。今後、大学の学部等内容を詰め、市の支援内容等を協議しながら、大学設置を目指します。



▲左から佐賀女子短期大学学長 今村正治様、学校法人旭学園理事長 内田信子様、武雄市長 小松政

● 新設 4年制大学(共学)の概要

開学時期 最短で2025年(令和7年)4月

学 部 2学部

- ①韓国をはじめとするアジアのエンターテイメント、文化、政治、経済・経営などを学ぶグローバル系の学部
- ②新しい時代の教育課題に対応する教育プロフェッショナル人材を育成する教育・福祉系学部

収容定員 400名

候補地 白岩体育館跡地

● 市の支援

01 支援方針

- ・キャンパスの設計・建築費用、教具の購入費等への支援
- ・市有地の賃貸費用への支援
- ・嬉野市や有田町など県内市町との連携や、地域と連携した取り組みの支援

02 大学設置支援室の設置(2月20日付)

企画部企画政策課内に設置。
大学設置に向けた各種検討や地域、周辺自治体との調整に取り組む。

TAKED NEWS 武雄市の旬をお届け!



NEWS 有限会社窓辺様よりバレーボール用支柱等を寄贈していただきました

2月20日(月)、有限会社窓辺 代表取締役 東島誠一郎様より、武雄市立山内中学校へバレーボール用の支柱やネット等、総額145万円相当の器具を寄贈いただき、その贈呈式が市役所で行われました。

有限会社窓辺様は昭和53年に創業。今年で45周年目を迎えられ、何か恩返しができないかと、地元である山内中学校への寄贈に至ったとのこと。

今回寄贈いただいた器具は、授業や部活動等で活用させていただきます。

有限会社窓辺様、誠にありがとうございました。



NEWS 圓照寺仏教婦人会様よりご寄附をいただきました

1月16日(月)、武雄市教育委員会から圓照寺仏教婦人会様へ、ご寄附に対する感謝状を贈呈しました。

圓照寺仏教婦人会様からは、昨年12月に「市のこどもの貧困対策事業に役立ててください」とご寄附をいただいております。今回松尾教育長から「いただいたご寄附は大切に活用させていただきます」と感謝の言葉とともに感謝状を贈りました。

圓照寺仏教婦人会様、誠にありがとうございました。